

2021年度 点検・評価活動を振り返って

神奈川大学自己点検・評価全学委員会

本学は、2011年度に「内部質保証の方針」を策定し、教育研究活動、社会貢献及び国際的展開における質的向上に取り組んできた。2015年度には第2期認証評価を受審し、「大学基準に適合している」との評価を得た。神奈川大学学則第1条の2に定められている通り、本学では6年ごとに文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を受けることとなっており、2021年度は第3期認証評価の受審年度であった。

2021年度、本委員会では、第3期認証評価結果の現地調査に向けた対応を行い、認証評価結果の改善課題に向けた検討を開始した。

以下に、2021年度の取り組みを総括する。

1. 2021年度の点検・評価活動について（取り組みの概要）

1) 第3期認証評価現地調査に向けた対応と認証評価結果

2021年度に受審する第3期認証評価に向けて、2020年度には「点検・評価報告書」及び添付資料を公益財団法人大学基準協会へ提出した。認証評価は「点検・評価報告書」に対する書面評価と現地調査（教職員・学生へのインタビュー及びキャンパスの視察）によって行われるが、新型コロナウイルスの影響により、現地調査はオンラインにて実施となり、キャンパスの視察は行われなかった。

現地調査に先駆けて、大学基準協会より、現地調査10日前までに回答する「現地調査における質問事項」が提示されたため、各学部/研究科及び学内関係者へ回答作成と根拠資料の提出を依頼した。

現地調査は9月9・10日の2日間にわたって行われた。両日のスケジュールは以下のとおりである。

現地調査1日目（9月9日）

時間	内容
12:45～14:15	全体面談（1）
14:30～16:00	全体面談（2）
16:15～17:00	個別面談（1） テーマ：質保証システム、自己点検・評価活動

現地調査2日目（9月10日）

時間	内容
10:00～10:45	個別面談（2） テーマ：教学マネジメント、学習成果の可視化
11:00～12:00	学生インタビュー

13：00～13：45	個別面談（3）テーマ：社会連携・社会貢献
14：30～16：00	全体面談（3）

その後、12月20日に「大学評価結果（委員会案）」が示され、各組織で内容を確認のうえ、意見申立書を提出した。

以上の経緯を経て、2022年3月15日に「大学評価（認証評価）結果」の通知を受け、3月24日に本学ホームページ等にて公表した。「大学評価（認証評価）結果」の詳細については、下記のホームページを参照。

■認証評価結果

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/disclosure/improve/evaluation/report.html>

■活動報告

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/disclosure/accreditation/active/>

■2021年度 評価結果について

https://www.kanagawa-u.ac.jp/disclosure/accreditation/report/2021_result/

■プレスリリース

https://www.kanagawa-u.ac.jp/pressrelease/details_23228.html

評価結果については、「大学基準に適合している」との評価を得るとともに、改善すべき5つの改善課題と2つの長所が付された。「改善課題」については、2025年度にその改善状況を「改善報告書」により提出することが義務付けられており、全学で改善にかかる取組を実施し、その内容の検証までを完了させる記載が必要となる。

2)内部質保証の「指標」の設定について

第3期認証評価では、「内部質保証」と「学習成果の可視化」が重視されている。また、2020年の私立学校法の改正で、教育の質向上が大学の責務と位置付けられているため、内部質保証の取組みが教育の充実や学習成果の向上等にどのように寄与しているかが問われており、学習成果を測定するための「指標」の設定が重要となる。

それらを受け、2020年度より内部質保証の「指標」の設置について検討を行ってきた。2021年度は、各学部の専門教育において有効的と思われる「指標」をまとめ、2021年度第2回自己点検・評価全学委員会（6月23日開催）において報告した。（別添1）

また、第3期認証評価における実地調査から、学生の学習成果や成績評価に関する全学的な取組の検討が必要であるとの課題意識から、2021年度第5回自己点検・評価全学委員会（2022年1月26日開催）では、ルーブリックの導入について各学部・研究科より意見を募った。

ルーブリックの導入の検討については、今後具体的な検討を進めるにあたり、学修進路支援委員会と協力して検討をする可能性があるため、2022年3月2日に自己点検・評価全学

委員会委員長から教務部長へ「ルーブリック導入の検討に向けた協力について（依頼）」を提示した。

本検討については、2022 年度より学習成果の可視化に関する検討として、引き続き検討を進める。

3)各学部/研究科における自己点検進捗確認シートの実施

第3期認証評価の改善課題として、「自己点検・評価全学委員会」によるマネジメントが機能しておらず、実質的な内部質保証は各機関・部門における個別対応が基礎となっているため、適切に内部質保証体制を整備したうえで、これを有効に機能させるよう改善が求められる。」との指摘がなされた。

そのため、全学の内部質保証を有効に機能させることを目的として、本委員会において、各組織の教育・研究にかかる活動及び改善課題の改善に向けた取り組みについて、進捗確認を実施することとし、2021年度第6回自己点検・評価全学委員会（2022年3月23日開催）において、各学部・研究科に自己点検進捗確認シートの提出を依頼した。

4)「神奈川大学の基本方針 2021」の刊行

3つのポリシーを含む本学の各種方針を学内外に広く周知するため、「神奈川大学の基本方針」を冊子刊行するとともに、大学ウェブサイトにて公開した。

■神奈川大学ウェブサイト「本学の情報」 神奈川大学の基本方針

http://www.kanagawa-u.ac.jp/disclosure/data/basic_policy/

2. 2021年度の点検・評価活動を振り返って

2021年度は第3期認証評価の受審年度となり、認証評価受審対応を中心に活動を行った。「大学基準に適合している」との評価ではあったが、5つの改善課題が付されたため、2025年の改善報告書提出に向けて、それぞれの検討を進めていくこととなる。

第2期認証評価受審以降は、本委員会から各組織に向けては、3つのポリシーの点検による点検活動のみ実施してきたが、第3期認証評価にて指摘された改善課題を受け、進捗確認シートによる自己点検活動の確認を実施することとした。2021年度は学部/研究科に限り提出依頼を行ったが、2022年度は学部等自己点検・評価実施委員の構成を見直したうえで、各委員会にも提出依頼を行い、全学的な自己点検活動を実現できる体制を整えたい。

3. 今後の活動について

1) 自己点検・評価体制の見直し

第3期認証評価の改善課題として、「自己点検・評価全学委員会」によるマネジメントが機能しておらず、実質的な内部質保証は各機関・部門における個別対応が基礎となっている

ため、適切に内部質保証体制を整備したうえで、これを有効に機能させるよう改善が求められる。」との指摘より、内部質体制の整備のため、学部等自己点検・評価実施委員の構成の見直しを実施する。

2) 学習成果の可視化の検討

2020 年度より「内部質保証の『指標』の設定について」について本委員会にて検討を行ってきたが、認証評価結果を受け、教学改革委員会に小委員会を設置し、全学的な学習成果の可視化実現のための検討を開始する。

3) 第三者評価の実施

1. 2021 年度の点検・評価活動について（取り組みの概要）において記載した 3) 各学部/研究科における自己点検進捗確認シートの実施の進捗確認シートの評価については、学外有識者による第三者評価を想定しているため、評価委員の構成や実施方法等の検討を進める。

4) 各委員会における自己点検進捗確認シートの実施

1. 2021 年度の点検・評価活動について（取り組みの概要）において記載した 3) 各学部/研究科における自己点検進捗確認シートの実施を各委員会においても実施する。

以上